



Sources: Fisher Rare Book Library, University of Toronto

# 糖尿病における災害への備え

— 阪神・淡路大震災・東日本大震災・熊本地震の経験を通して —

日時

2018年9月4日(火) 19:00-19:50

~~延長放送 9月5日(水)12:00 - 9月7日(金)23:59~~

※ライブでの視聴のご都合がつかなくなった先生方を対象に、オンデマンド配信にて延長放送をご用意しておりますので、ぜひご参加ください。

※なお、延長放送の配信を予告なく中止させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

延長放送時間：

実施場所：鶴岡市総合保健福祉センターにこ♥ふる 3F大会議室

座長

関西電力病院 総長 関西電力医学研究所 所長

清野 裕 先生



演者

「糖尿病に関する災害への備え：  
東日本大震災の経験から」

東北医科薬科大学若林病院 名誉院長・健診センター所長

佐藤 譲 先生



「熊本地震での対応と教訓」

熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学分野 教授

荒木 栄一 先生



## 抄録 「糖尿病に関する災害への備え：東日本大震災の経験から」

東北医科薬科大学若林病院 名誉院長・健診センター所長 佐藤 譲 先生

日本では地震、津波、大雨など災害が絶えない。関東大震災、阪神淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災などの大災害の後にも熊本地震や先日の大阪北部地震が発生し、将来は南海トラフ巨大地震や大津波も予想されている。糖尿病患者は災害時の弱者であり、特に、インスリン依存状態の患者はインスリンの供給が止まったら生命にかかわる。突然発生した東日本大震災では糖尿病患者も医療者も混乱した。日本糖尿病学会は医療者や糖尿病患者を対象に災害時の状況と問題点を調査し、それに基づいて、災害時の糖尿病診療マニュアルを発行した。本講演では東日本大震災の経験に基づいて糖尿病に関して災害への備えと対策についてお話する。

## 抄録 「熊本地震での対応と教訓」

熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学分野 教授 荒木 栄一 先生

日本では様々な災害のリスクが高まっている。熊本県でも、2016年4月14日、16日と二度に亘る直下型大地震が発生し、多大なる被害が発生した。本講演では、熊本地震における震災発生以降の医療現場での対応状況、並びに日本糖尿病学会・日本糖尿病協会と熊本大学との連携、県内外の医療機関から頂戴した支援体制などについて紹介する。また、避難所等での診療活動の経験から、罹災された糖尿病患者がどのような影響を受けたのかを中心に、今後いつ発生するか分からない震災に対し、日頃からの備えの重要性について考えてみたい。

## ご視聴方法

「プレミアムLilly Diabetesウェブ講演会」をご視聴いただくには、「Lillyメール」へのご登録が必要です。



### 「Lillyメール」にご登録いただいた先生

イーライリリー担当MRよりメールをお送りさせていただきます。メールに記載のリンクよりご視聴ください。

### 「Lillyメール」にご登録いただいていない先生

イーライリリー担当MRまでお問い合わせください。

